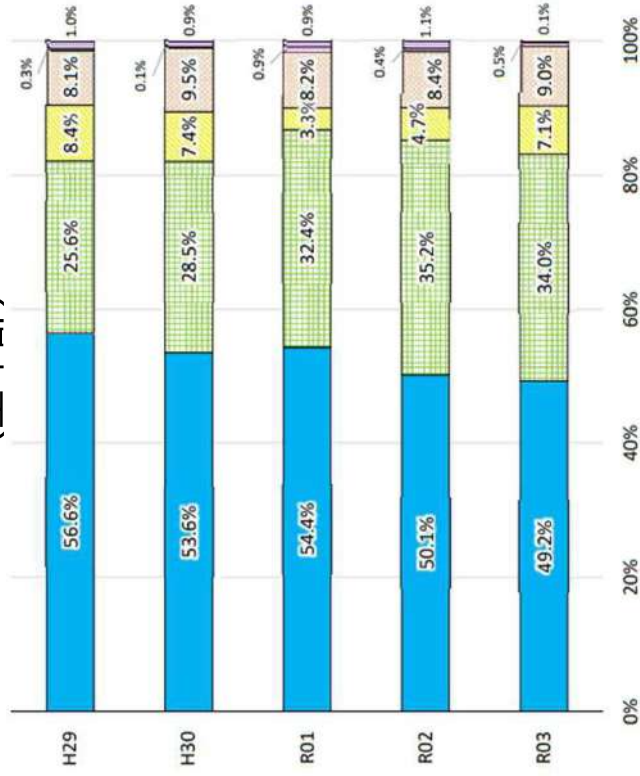


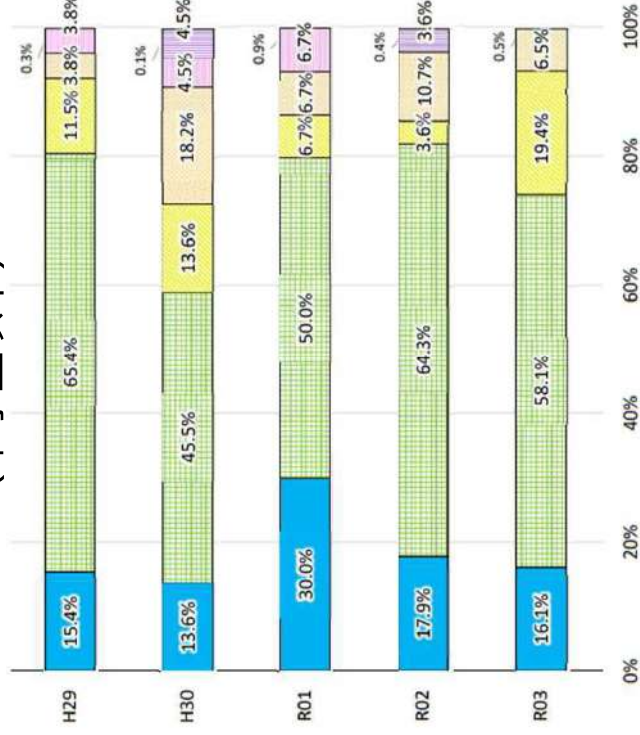
河川水難事故の状況

水難者（死者・行方不明者）の場所別構成比

(全年齢)



(中学生以下)



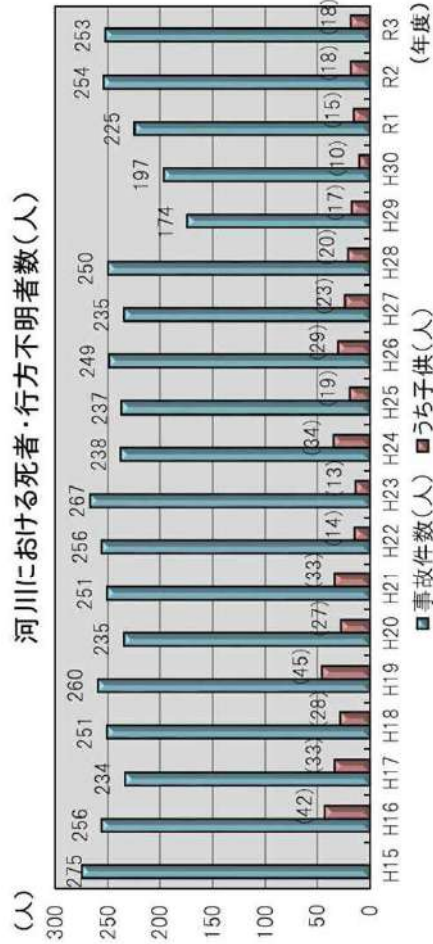
出典：警察庁生活安全局生活安全企画課「令和3年度における水難の概況」

“河川”は“海”について2番目に高い

子どもでは“河川”での発生が最も多い

河川水難事故は毎年多発

河川における死者・行方不明者数(人)



○平成20年7月の都賀川水難事故では、児童3人を含む5人が死亡



河川水難事故防止ポータルサイト→

農業用水路転落防止の取組事例

農業用水路などへ近づいたり、遊ばないよう注意看板、水路への転落防止柵、蓋掛け等の設置を進めている。

近年の短時間豪雨により、一気に水路の水が増水し危険



イラスト注意喚起看板



保育所掲示板への掲示

転落防止柵を設置



自発光式道路釘を設置



開水路に蓋を設置

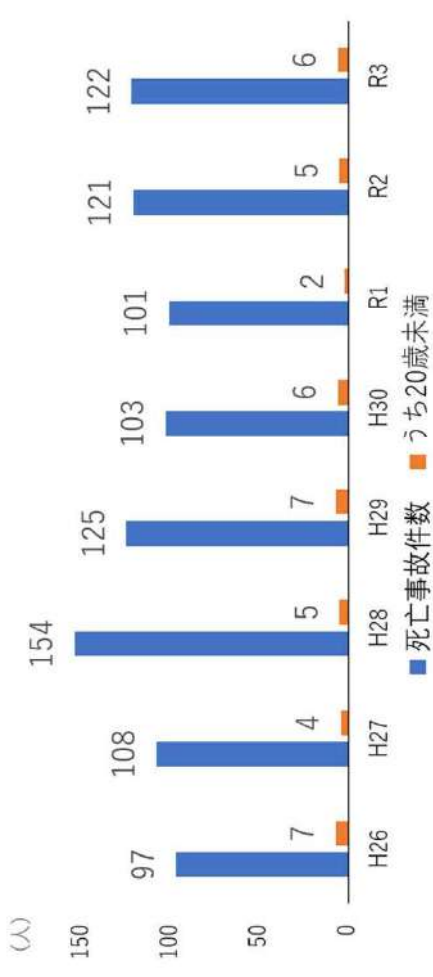


外灯を設置



農業用施設における死亡事故件数

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
死亡事故件数	97	108	154	125	103	101	121	122
うち10歳未満	5	4	3	3	3	1	2	3
うち10歳以上20歳未満	2	0	2	4	3	1	3	3



農業用水路転落後の救命取組事例

住宅地に近い、通水路にある開水路を中心に、水路転落後の救命設備として、脱出用ブイやステップを設置している。

脱出用ブイ設置



水路からの脱出用ステップ設置



農業用水路への転落事故防止のための啓発取組事例

毎年、かんがい期が始まる3、4月頃から様々な手法で、農業用水路等の安全対策を周知している。

農林水産省公式FacebookやTwitterを活用してに安全対策を啓発

【農業用水路への転落事故を減らすためのお願い】
 おいしいお米や野菜を作るためには水が必要ですが、その水を田んぼや畑まで届けるために欠かせないのが農業用水路です。
 農業用水路は、長い歴史を経て農村地域に張り巡らされており、その総延長は地球10周分に相当する約40万kmもあるのですが、皆さんがお住いの身近なところにあるかもしれません。
 身近なところにあるため、特に子どもや高齢者が水路に転落される事故も起きています。
 春から秋の期間の農業用水路は、水路を流れる水の量が多くて特に危険で、一度落ちてしまうと、水の流れが速いため自力で脱出することは困難です。近づかないようお願いいたします。また、子どもたちが水路の周辺で遊んでいたら注意してあげてください。
 農林水産省では、皆様に農業用水路の重要性を知っていただくとともに、水路転落事故を1件でも減らすことができように取り組みでまいります。

○農業用水路の安全対策に関するページ
<https://www.maff.go.jp/j/inous/in/seketei/nv/r/anzen/index.html>
 #水路転落 #水路危険 #子ども #夏休み #高齢者 #大雨 #水路転落 #農業 #農村



一般紙を活用して地域に安全対策を啓発

土地改良区、注意呼び掛け
 原北地区農業用水路 六百ccの水を 十月
 約する分市の木津用水路 五百ccの水を 本種が
 地改良区に注意呼び 一十
 増えなため、子どもが用

木津用水 26日から通水
 安全を呼びます。農業用水路は、水路を流れる水の量が多くて特に危険で、一度落ちると、水の流れが速いため自力で脱出することは困難です。近づかないようお願いいたします。また、子どもたちが水路の周辺で遊んでいたら注意してあげてください。
 水路に落ちると、水路を流れる水の量が多くて特に危険で、一度落ちると、水の流れが速いため自力で脱出することは困難です。近づかないようお願いいたします。また、子どもたちが水路の周辺で遊んでいたら注意してあげてください。
 水路に落ちると、水路を流れる水の量が多くて特に危険で、一度落ちると、水の流れが速いため自力で脱出することは困難です。近づかないようお願いいたします。また、子どもたちが水路の周辺で遊んでいたら注意してあげてください。



農業水利施設の見学会を地域の小学生に行い、農業用施設の重要性や注意すべき危険箇所等の安全行動について啓発

施設管理者が発行する広報誌により安全対策を啓発

水難事故防止にご協力を!

毎年、各地で子どもや高齢者の水路での事故が後を絶ちません。
 子ども達が水路で遊ばないよう声をかけたり、高齢者のいる家庭では注意喚起を呼びかけたりすることが大切です。
 猪ましい事故を防止するため、家庭や地域の方々のお声がけをお願いします。

マスメディアを活用して地域に安全対策を啓発



総合学習（出前授業）を活用して安全対策を啓発



■ 農林水産省公式Facebookページ
<https://www.facebook.com/maffjapan>

■ 農林水産省公式Twitter(ツイッター)
https://twitter.com/MAFF_JAPAN

農業用ため池への子供の転落事故防止に向けた啓発活動の取組事例

ため池事故防止・注意喚起動画の作成（宮城県）

宮城県では、児童、教師、保護者等に、ため池の役割や転落事故の危険性の理解を深めてもらうための動画を作成するとともに、教育機関と連携し、動画の周知と活用を図っている。

<取組内容>

- 「ため池事故防止・注意喚起動画」を県広報課YouTubeチャンネルで公開（R4年7月）
URL：<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nosonshin/tameike-rule.html>
- 動画の周知と活用を図るため、県教育委員会と連携し、以下の取組みを実施
 - ・警察署や消防署，教育委員会等が参加する会議での情報共有
 - ・学校向けに配布する広報誌への情報掲載
 - ・全小学校に動画活用について案内するとともに、保護者等への一斉メール配信の実施
 - ・職員による小学校への出前講座の実施



ため池事故防止・注意喚起動画



小学校での啓発活動

小学校と連携した「ため池ふるさと教育プログラム」の実施（兵庫県）

兵庫県では、ため池等を地域の財産として認識するとともに、ふるさとへの愛着を醸成するため、6年間の継続的な体験型の学習機会を提供する「ため池ふるさと教育プログラム」を実施している。

<4年生の授業内容>

- ため池の役割や意義のほか、危険性についても学習し、ため池で溺れた時に浮き輪代わりとなる救助具「レスキューペットボトル」を提案。
- ボトルの数や重さ、ロープの取り付け方法などを実際に近くのため池で検証しながら製作、設置。
- この取組は、新聞やテレビのニュースなどにも取り上げられた。



ため池学習の様子



レスキューペットボトル発案



レスキューペットボトル設置

教育機関と連携して、小学生等にチラシ等を配布



ノートの配布（北海道土地連）

チラシの配布（青森県）

チラシの配布（新潟県）

農業用水路及びため池への転落事故防止に向けた普及啓発ツール

■ ため池に入るのは危険です (BUZZ MAFF)

【農業用ため池における転落事故防止PR動画】



■ 【農業用ため池における転落事故防止PR動画URL】

■ <https://www.youtube.com/watch?v=-4bXpH3Qfek>

【BUZZ MAFF (ばずまふ) とは】

農林水産省職員自らが、省公式YouTubeチャンネルでYouTuberとなるなど、担当業務にとらわれず、その人ならではのスキルや個性を活かして、我が国の農林水産物の良さや農林水産業、農山漁村の魅力等を発信するプロジェクトです。

■ 事故防止の啓発ポスター

(全国土地改良事業団体連合会 作成)



■ 【農業用水利施設の安全対策啓発ポスターURL】

■ <https://www.inakajin.or.jp/works/support/land/poster>

全国水士里ネット (全国土地改良事業団体連合会) ではため池や農業水路などの転落防止を呼びかけるポスターを作成し、無償でデータ提供しています。